

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月3日

上場会社名 アイカ工業株式会社
 コード番号 4206 URL <http://www.aica.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 修
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務企画部長 (氏名) 百々 聡
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日
 配当支払開始予定日

上場取引所 東 名

TEL 052-409-8261

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	17,357	15.3	946	32.3	1,029	32.4	578	31.3
21年3月期第1四半期	20,486		1,397		1,522		841	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	9.01	9.00
21年3月期第1四半期	12.68	12.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	84,137	65,989	77.6	1,017.43
21年3月期	84,330	65,478	76.9	1,010.40

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 65,332百万円 21年3月期 64,881百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		15.00		13.00	28.00
22年3月期					
22年3月期(予想)		15.00		13.00	28.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は当期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	41,400	6.0	3,000	17.7	3,100	18.1	1,700	18.4	26.47
連結累計期間	85,000	3.0	6,800	2.9	7,000	0.3	3,900	8.8	60.74
通期									

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[注] 詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無

以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	69,890,664株	21年3月期	69,890,664株
-------------------	-------------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数	22年3月期第1四半期	5,677,552株	21年3月期	5,676,762株
---------	-------------	------------	--------	------------

期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	64,213,358株	21年3月期第1四半期	66,382,766株
--------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年来からの世界的な不況による企業業績の悪化や景気の先行き懸念による個人消費の低迷などが続き、厳しい経営環境となりました。

建築業界におきましては、設備投資の減少や雇用情勢の悪化、個人所得の低迷などにより住宅・非住宅とも厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境にありまして当社グループは、営業活動の強化や新商品の開発に積極的に取り組むとともに、グループ一丸となって業務改革を推進し、生産効率の向上、コスト削減に努めました。

このような結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高17,357百万円（前年同四半期比15.3%減）、経常利益1,029百万円（前年同四半期比32.4%減）、四半期純利益578百万円（前年同四半期比31.3%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと次のとおりであります。なおセグメント間の内部売上は除いております。

(化成品セグメント)

環境配慮型商品である弾性接着剤や品揃えを充実させた耐震用途向けエポキシ樹脂は好調でしたが、木工・家具用途向け接着剤、塗床材、外装・内装仕上塗材などは市況の低迷により低調に推移いたしました。なお、当セグメントは、当期はコスト削減に努めたことに加え、前期のような原材料価格高騰による収益圧迫要因が無かったことから、収益は改善されました。

このような結果、売上高は4,962百万円（前年同四半期比18.7%減）、営業利益（配布不能営業費用控除前）は175百万円（前年同四半期比69.1%増）となりました。

(建装材セグメント)

建装材商品は、質感が高く指紋などの汚れが目立ちにくい高意匠メラミン化粧板など新商品の発売や、メラミン化粧板・不燃化粧材・フィルムシート材等の柄連動システムなどにより販売の強化を図りましたが、商業施設・住宅市場向けとも厳しい状況で推移いたしました。

このような結果、売上高は4,492百万円（前年同四半期比19.8%減）、営業利益（配布不能営業費用控除前）は604百万円（前年同四半期比30.7%減）となりました。

(住器建材セグメント)

医療および高齢者住宅市場向けのインテリア建材は、市場で評価され売上げを伸ばすことができましたが、内装ドア、各種カウンター、キッチン扉、システム収納扉は、用途提案など市場の開拓に努めましたが、住宅市場の低迷を受け減少となりました。

このような結果、売上高は5,507百万円（前年同四半期比16.2%減）、営業利益（配布不能営業費用控除前）は633百万円（前年同四半期比12.1%減）となりました。

(電子セグメント)

プリント配線板は、半導体関連や通信機器などの世界的な市況の落ち込みを受け厳しい状況で推移いたしました。電子材料は、ハードコート樹脂や高機能フィルムは売上げを伸ばすことができましたが、市況全体の落ち込みをカバーするには至らず、大幅な収益の低下となりました。

このような結果、売上高は975百万円（前年同四半期比41.6%減）、営業利益（配布不能営業費用控除前）は8百万円（前年同四半期比94.5%減）となりました。

(その他セグメント)

有機微粒子は、化粧品・液晶用光拡散フィルム用途は堅調に推移しましたが、受託加工品である保存剤関係は減少しました。

このような結果、売上高は1,419百万円（前年同四半期比166.2%増）、営業利益（配布不能営業費用控除前）は49百万円（前年同四半期比17.5%減）となりました。

なお、売上高が前年同四半期に比べ大幅に増加しておりますが、前第3四半期連結会計期間より西東京ケミックス株式会社を新たな連結対象としたことによるものであります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ0.2%減少し、84,137百万円となりました。主な資産の増減は「現金及び預金」が1,778百万円の増加及び「投資その他の資産」が750百万円増加したこと、「受取手形及び売掛金」が2,697百万円減少したことなどによるものです。負債は前連結会計年度末に比べ3.7%減少し、18,148百万円となりました。主な負債の減少は「支払手形及び買掛金」が1,024百万円減少したことなどによるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べ0.8%増加し、65,989百万円となりました。主な増減は「四半期純利益」で578百万円の増加及び「その他有価証券評価差額金」で604百万円増加したこと、「剰余金の配当」で834百万円減少したことなどによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.7ポイント増加し、77.6%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績は概ね計画通りに推移しており、平成21年5月8日公表の業績予想からは変更ありません。今後も厳しい経営環境が続くものと予想され、景気の深刻化の動向によって第2四半期連結累計期間及び通期の業績見込みについては見直しが必要と判断した場合には速やかに開示致します。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

1) たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ、正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2) 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,505	18,726
受取手形及び売掛金	25,949	28,646
商品及び製品	4,133	3,983
仕掛品	225	202
原材料及び貯蔵品	1,683	1,544
その他	2,459	2,283
貸倒引当金	54	15
流動資産合計	54,903	55,373
固定資産		
有形固定資産	19,241	19,580
無形固定資産		
その他	1,754	1,889
無形固定資産合計	1,754	1,889
投資その他の資産		
その他	8,238	7,488
貸倒引当金	0	0
投資その他の資産合計	8,238	7,487
固定資産合計	29,233	28,957
資産合計	84,137	84,330
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,443	12,468
短期借入金	520	492
未払法人税等	677	236
賞与引当金	1,638	1,218
その他	2,816	3,408
流動負債合計	17,096	17,824
固定負債		
退職給付引当金	318	287
その他	733	740
固定負債合計	1,051	1,027
負債合計	18,148	18,852

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,745	13,745
利益剰余金	45,940	46,197
自己株式	4,926	4,925
株主資本合計	64,651	64,908
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	804	200
繰延ヘッジ損益	3	10
為替換算調整勘定	119	216
評価・換算差額等合計	680	26
新株予約権	26	18
少数株主持分	630	578
純資産合計	65,989	65,478
負債純資産合計	84,137	84,330

(2)【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	20,486	17,357
売上原価	15,115	12,618
売上総利益	5,370	4,739
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,018	895
給料及び賞与	1,011	953
賞与引当金繰入額	246	227
退職給付費用	56	70
貸倒引当金繰入額	-	38
その他	1,640	1,606
販売費及び一般管理費合計	3,973	3,792
営業利益	1,397	946
営業外収益		
受取利息	22	17
受取配当金	80	66
負ののれん償却額	4	-
その他	95	67
営業外収益合計	203	151
営業外費用		
支払利息	7	3
売上割引	20	17
減価償却費	-	14
持分法による投資損失	25	8
その他	25	23
営業外費用合計	78	68
経常利益	1,522	1,029
特別利益		
固定資産売却益	1	7
投資有価証券売却益	-	0
貸倒引当金戻入額	2	-
特別利益合計	3	8
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産処分損	8	26
たな卸資産評価損	29	-
投資有価証券評価損	-	8
その他	0	4
特別損失合計	39	40
税金等調整前四半期純利益	1,487	998
法人税、住民税及び事業税	716	698
法人税等調整額	110	288
法人税等合計	605	409
少数株主利益	39	10
四半期純利益	841	578

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,487	998
減価償却費	785	768
のれん償却額	-	3
負ののれん償却額	4	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	2	38
賞与引当金の増減額(は減少)	457	419
退職給付引当金の増減額(は減少)	9	26
長期未払金の増減額(は減少)	14	-
受取利息及び受取配当金	103	84
支払利息	7	3
固定資産売却損益(は益)	1	7
固定資産処分損益(は益)	8	26
投資有価証券評価損益(は益)	-	8
投資有価証券売却損益(は益)	-	0
持分法による投資損益(は益)	25	8
売上債権の増減額(は増加)	2,363	2,727
たな卸資産の増減額(は増加)	259	248
その他の流動資産の増減額(は増加)	175	26
仕入債務の増減額(は減少)	1,222	1,078
その他の流動負債の増減額(は減少)	11	57
その他	115	22
小計	3,233	3,619
利息及び配当金の受取額	103	95
利息の支払額	6	2
法人税等の支払額	1,717	237
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,612	3,474
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	582	458
有形固定資産の売却による収入	1	24
有形固定資産の除却による支出	3	2
無形固定資産の取得による支出	42	27
投資有価証券の取得による支出	77	2
投資有価証券の売却による収入	-	1
関係会社株式の取得による支出	162	-
貸付けによる支出	2	0
貸付金の回収による収入	1	1
その他	3	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	871	445

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	-	5
自己株式の取得による支出	1	0
配当金の支払額	864	835
少数株主への配当金の支払額	33	6
自己株式の売却による収入	0	0
リース債務の返済による支出	-	423
財務活動によるキャッシュ・フロー	899	1,270
現金及び現金同等物に係る換算差額	83	21
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	241	1,778
現金及び現金同等物の期首残高	16,839	18,726
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	109	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,707	20,505

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	化成品 (百万円)	建装材 (百万円)	住器建材 (百万円)	電子 (百万円)	その他 (百万円)	計(百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結(百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	6,106	5,601	6,572	1,671	533	20,486		20,486
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	533	355				888	(888)	
計	6,639	5,956	6,572	1,671	533	21,374	(888)	20,486
営業利益	103	872	720	163	60	1,920	(523)	1,397

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	化成品 (百万円)	建装材 (百万円)	住器建材 (百万円)	電子 (百万円)	その他 (百万円)	計(百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結(百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,962	4,492	5,507	975	1,419	17,357		17,357
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	504	248				753	(753)	
計	5,466	4,741	5,507	975	1,419	18,110	(753)	17,357
営業利益	175	604	633	8	49	1,472	(525)	946

(注) 1 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品の名称

事業区分は、製品の種類、販売市場等を勘案し行っており、各事業区分の主要製品は次のとおりであります。なお上記の勘案を行った結果、前第2四半期連結会計期間より化成品セグメントの塗壁材を外装・内装仕上塗材に含めております。

化成品 外装・内装仕上塗材、塗床材、各種接着剤
 建装材 メラミン化粧板、化粧合板
 住器建材 玄関・室内用ドア、インテリア建材、カウンタ-、収納扉、不燃化粧材
 電子 プリント配線板、電子材料
 その他 有機微粒子、保存剤、他

2 前第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、前第1四半期連結会計期間の営業利益は化成品事業が1百万円、建装材事業が1百万円、住器建材事業が2百万円、電子事業が0百万円減少しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)
海外売上高は連結売上高の10%未満であるので記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)
海外売上高は連結売上高の10%未満であるので記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)
該当事項はありません。